

北海道で考える北東アジア国際情勢シンポジウム

第2次トランプ政権の激震

～グリーンランド・北極問題－北東アジアへの影響～



トランプ大統領は第二期政権でグリーンランド取得への姿勢を強め、特使任命や「米軍活用も選択肢」との発言が注目されています。資源確保に加え、ロシア・中国の北極域での影響力拡大を抑える狙いが背景にあるとみられます。

海水減少や北極海航路の可能性も踏まえ、本シンポジウムではグリーンランド／北極域の動向が北東アジア、日本、北海道に与える影響を専門家とともに考えます。

大西 富士夫



北海道大学北極域研究センター特任准教授
「北極域の政治情勢の変化と北東アジアへの影響」

高橋 美野梨



高橋美野梨 北海学園大学法学部准教授
「トランプの対グリーンランド・北極域戦略と北東アジア・日本・北海道」

大塚 夏彦



道立オホーツク流氷科学センター所長
「変化する国際情勢と北極海航路の現状および可能性」

2026年2月27日(金) 14:00～16:00 (120分)

会

場：北海学園大学教育会館1階A V 4教室

札幌市豊平区旭町4丁目1-40

地下鉄東豊線学園前駅3番出口直結(駐車場はありません)

参 加 方 法：二次元コードから参加登録、または下記メールにて氏名・所属・連絡先を記載の上お申し込みください【参加無料・定員80名】オンライン配信あり



お問い合わせ先：HIECC 企画・協力部 森内

☎011-221-7840 ✉moriuchi@hiecc.or.jp



主催 公益社団法人 北海道国際交流・協力総合センター(HIECC)
北海学園大学開発研究所



Hokkai-Gakuen University